

《目次》 P1…新年度の挨拶	P2～4…令和2年度失語症意思疎通支援事業報告
P5…総会報告	P6…研修会報告(学術講演会・症例検討会)
P7・8…新入会員紹介	P9…理事会報告
P10…各局よりお知らせ	P11…会員施設一覧・編集後記

新年度の挨拶

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 会長 内山 量史
(春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)

この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様および影響を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早く平常の暮らしに戻ることができるようお祈り申し上げます。

令和3年5月21日(金)に開催された定時社員総会は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、会場出席者は最少人数とし、書面による参加を中心とせざるを得ない状況となりました。当日は100名を超える会員から意思表示をいただき、滞りなく総会を開催することができました。ありがとうございます。また、理事会より提案をさせていただいた全ての議案に対して承認をいただき感謝申し上げます。

昨年の総会で数名の出席者に向けて「今年は特別な総会となりました」と挨拶をしたことを鮮明に思い出します。これまでは大きな会場で約80名の会場出席者によって総会が開催され、総会終了後は山梨県理学療法士会、山梨県作業療法士会の会長・副会長・事務局長をお招きしての新人歓迎会が盛大に開催されていました。華やかなムードの中、言語聴覚士の資格を取得し山梨県に就職された新人を歓迎することから当会の事業はスタートしていました。新型コロナウイルスによる感染がこのように1年以上も継続するとは昨年の5月の時点では想像もしていませんでした。現時点では変異株による感染者の増加が連日、報道され予断を許さない状況が続いております。

言語聴覚士はコミュニケーションを大切にする職種です。そのコミュニケーションがマスクやソーシャルディスタンスなどで1年以上も業務や日々の生活で制限を強いられていることは非常に辛く悔しい思いでなりません。その様な状況の中、オンラインシステムが構築されたのはコロナ禍における一つの産物だと思います。なかなか対面で事業展開ができない中でオンラインシステムを導入し、理事会や部会、学術活動、人材育成活動、広報活動、職能活動など、この状況下で出来る事業を展開することができました。今年度の総会議案書に記された「令和2年度事業報告」はコロナ禍でありながら、県士会が前を向いて活動を行った証しです。それを実施された理事の方々、それを支えていただいた会員の皆様に感謝申し上げます。

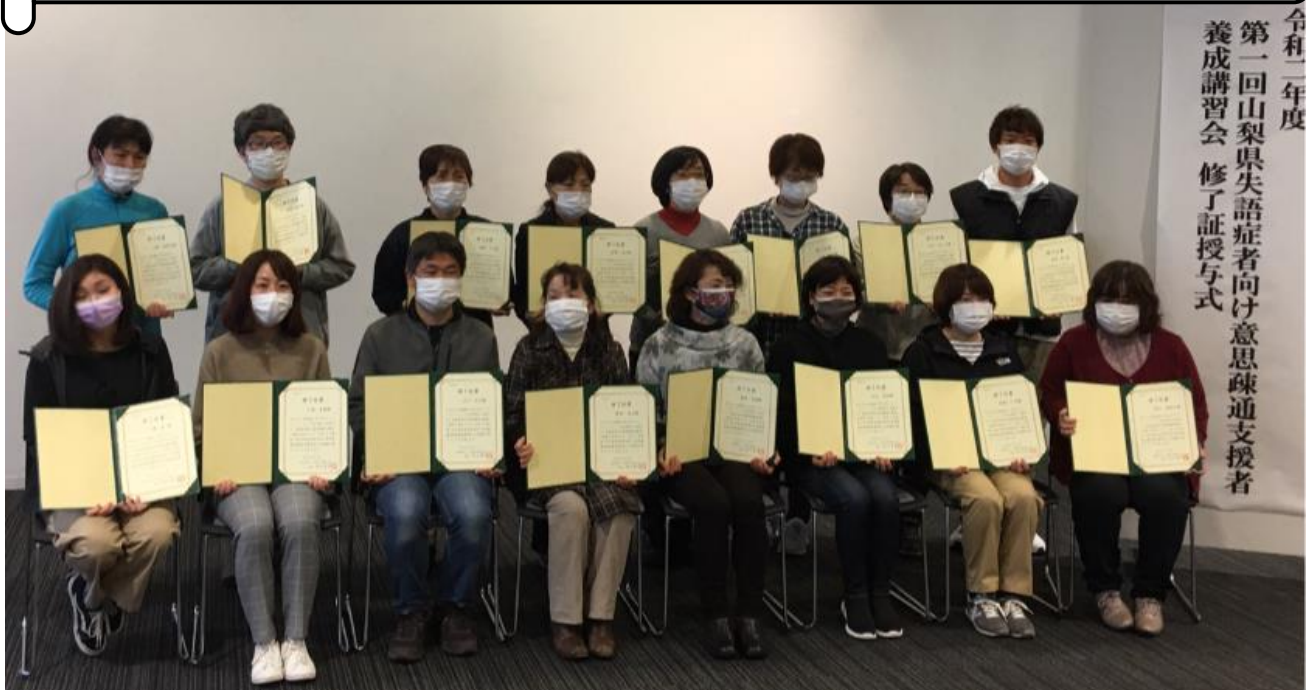
当会は会員の手作りの会、職場、年齢に関係なく意見や会話ができる顔の見える会をモットーに運営をしてきました。このコロナで会員相互の交流や連携は難しいですが、きっとこの状況もいつかは乗り越えられる時が来ます。その時にはさらに成長し、たくましくなった職能団体として皆様と笑顔で活動ができる日を楽しみにしています。

今年度も当会は徹底した感染防止策をはじめ安心・安全な事業運営を心がけていきます。多くの会員が言語聴覚士としての自己研鑽を止めることなく、当会の活動に参加(オンラインを含め)していただくことを望んでいます。

会員の皆様をはじめ周りにいる大切な方々の健康を心より祈念いたします。



令和2年度山梨県失語症者向け意思疎通支援者 1期生 16名が誕生しました




山梨県失語症者向け意思疎通支援事業運営委員会
委員長 赤池 三紀子

【令和3年3月13日（土）16時～17時 山梨県立図書館イベントホール】

令和2年度
第1回山梨県失語症者向け
意思疎通支援者養成講習会

修了証授与式

令和3年3月13日(土)
山梨県立図書館イベントホール



一般社団法人 山梨言語聴覚士会



第016号

修了証書

米山 身知子殿

あなたは、失語症のある方のコミュニケーションと社会参加を支援する「失語症者向け意思疎通支援者」の養成を目的とした「令和2年度第1回山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会」の全過程を修了したことを証します。

令和3年3月13日

一般社団法人 山梨県言語聴覚士会
会長 内山 量史

令和2年度第12回山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会
外出同行支援実習③ 「イオンモールで買い物」 12:30~16:00

修了式の前には、講習会の最後として外出同行支援が実施され、支援者16名と当事者6名はST6名とともに、大雨の中ノンステップバスを利用してイオンモール甲府昭和まで買い物に行きました。

土曜日でホワイトデーの前日や春休みが重なり、混雑していた上に悪天候で大変ご苦労をかけた同行支援実習でしたが、「事前準備の段階で当事者との打ち合わせが本当に大切だと痛感しました」「実際に売り場での買い物は座学とは異なり店員への誘導や商品説明もうまく伝わらず四苦八苦した」「当事者も伝えようとしているのはわかるがこちらもうまく感じ取れず申し訳なく思った」「当事者がやろうとする前に先回りして声掛けや指示をしてしまうことが多かった」「実習をもっともっとしないと外出同行支援は難しい」との感想が挙がり、今後の養成研修や派遣事業へ向けての多くの課題も見えてきました。

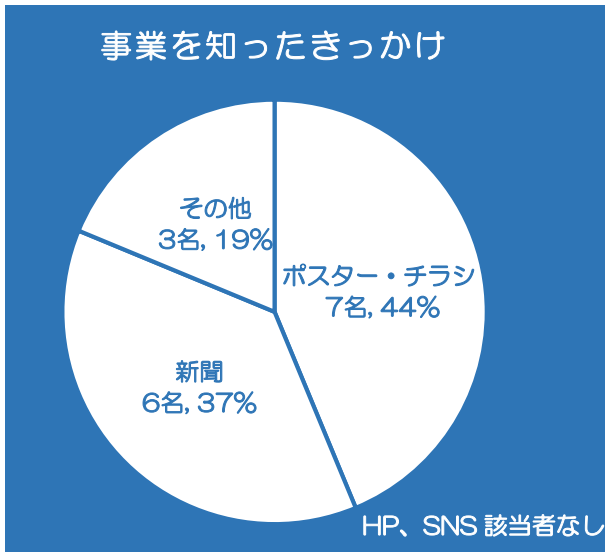


令和2年度失語症者向け意思疎通支援者養成講習会は終了し、山梨県に14名が登録されました。

令和3年度は市町村における派遣事業の予算化は困難でしたが、来年令和4年度からは派遣事業がスタートできるように現在、県と甲府市と協議を進めながら準備をしている状況です。失語症当事者が市町村窓口で直接出向いて窮状を訴えたり支援を要請することは変わらずに難しいことですが、この14名の登録者が、地域で暮らす失語症のある方々に支援できるこの制度を多くのSTが理解していることが重要です。会員の皆様には日ごろから地域生活支援事業における意思疎通支援事業を心得いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和2年度第1回山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成研修 アンケート集計結果

受講者からのアンケートを集計したものを抜粋しました。詳しくはホームページをご参照下さい。



- ① 仕事で失語症の方と関わりがあり、役に立ちたいと思った
- ② 身近に失語症の方がいてうまく思いをくみ取ることができず、歯がゆい思いをしたから
- ③ 失語症当事者に寄り添った支援を学びたいと思った
- ④ コミュニケーションスキルを学びたいと思った
- ⑤ 新聞記事を読み、以前に関わった方がリハビリで言葉を思い出す過程が感慨深かった経験を思い出したので学びたい

【講義の内容について、よかったこと】

- ① 今後の仕事に役立つ内容だった
 - ② 基礎の話や実態を聞き、支援者の目的が明確になった
 - ③ 失語症の病態、症状に対する対処方法をわかりやすく伝えてくれたことがよかった
- <今後の課題>

- ① 失語症について医学的な説明や治療内容、リハビリについてももう少し詳しく学ぶことで当事者への理解が深まると思う
- ② 福祉サービスの内容を学ぶ機会をもう少し取ってほしいと思う

【実習の内容について、よかったこと】

- ① 当事者と実際にかかわることで支援者の役割の難しさを実感することができた
- ② 言語聴覚士が1テーブル1人配置されアドバイスが聞けたことで安心感が大きかった
- ③ 身体介護実習の講義がとても楽しくてわかりやすくよかった

【実習の内容について、改善してほしいこと】

- ① 当事者と直接やり取りする時間がもっと多いほうがよかった
- ② 当事者1人対受講者数名では当事者が緊張してしまうため、1対1のやり取りも経験したかった
- ③ 最終日は寒い雨の中で行われ、駅から会場への移動に、買い物にと当事者にとってはあわただしかったので駅周辺がよいと話されていた

【研修全体について、よかったこと】

- ① 受講者同士が不安なことやわからないことを相談し合え、知識のない私も安心して受講できた
- ② 言語聴覚士も話しやすい雰囲気を作ったので質問しやすかった
- ③ 毎回講師陣の熱い思いと当事者自らが私たちに教えてくれるための参加がとてもありがたかった

【研修全体について、改善してほしいこと】

- ① 外出同行支援のイオンモールは少し広すぎたため、身近なスーパーのようなところでもよかった
- ② 最終日は外出同行支援実習を行うだけだったので振り返りもできなかったため、せめて実施後に言語聴覚士と共有して学びの場が欲しかった
- ③ こんなに丁寧な研修講義は関心を持つ方に受けてもらいたい、多くの人に知ってもらいたい、いつか公開講座を開いて多くの方の関心をより一層深くしていただきたい

令和3年度も頑張りましょう！皆さまも指導者養成研修を受けてご協力くださいね。

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 令和3年度 定時社員総会報告

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 事務局長 河西 祐子

令和3年度社員総会は、5月21日（金）午後7時より春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 会議室にて開かれました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、昨年度に引き続き会員の集会によらない決議を推奨し、最少人数での開催となりました。総会の様子はオンラインで配信し、理事や会員が傍聴できるようにしました。

内山会長より開会の挨拶があったのち、赤池三紀子副会長の司会により、坂井李菜氏が議長に選出されました。議長より、令和2年度終了時の社員数121名に対し、出席者は会場出席9名、委任状提出37名、書面表決提出56名の計102名であり、定款第19条の定足数を満たしていることから、総会が成立する旨が告げられました。次いで、山田徹氏、佐々木蘭子氏が議事録署名人に選出され、議案の審議に入りました。

第1号議案 令和2年度事業報告に関する件では、内山会長より各部局、委員会の令和2年度の活動が報告されました。続いて、第2号議案 令和2年度収支決算報告に関する件では、佐々木財務部部長より収支決算報告が行われました。第3号議案 監査報告に関する件では、中村監事、武井監事より当法人の会計及び業務の執行についての監査報告を受けたことが議長より報告されました。採決の結果、いずれの議案も賛成多数で承認されました。

第4号議案 令和3年度事業計画案に関する件では、内山会長より各部局、委員会の事業計画案について、第5号議案 令和3年度収支予算案に関する件では、佐々木財務部部長より収支予算案について説明がなされ、共に賛成多数で承認されました。

第6号議案 山梨県リハビリテーション専門職団体協議会に関する件では、内山会長より令和2年度の各委員会の活動報告、決算報告、令和3年度の活動計画案、予算案について報告され、賛成多数で承認されました。

最後に、内山会長より、令和2年度山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会の報告、今年度の失語症者向け意思疎通支援事業ならびに第3回合同学術大会への協力依頼があり、午後7時50分に閉会となりました。



〈会場の様子〉



〈オンラインでの傍聴の様子〉

令和3年度 山梨県言語聴覚士会

新入会員紹介



藤原 やよい (ふじはら やよい)

あけぼの医療福祉センター

千葉出身で、お子さんとのリハビリをしたいと思い、山梨に参りました。恵まれた環境で、願っていた仕事ができることに日々幸せを感じています。まだ慣れないことも多く知り合いも少ないため、勉強会などに積極的に参加して、知識も皆様とのコミュニケーションも深めていきたいです。これからよろしくお願ひ致します。



五十嵐 桃花 (いからし ももか)

石和共立病院

新潟県長岡市出身です。私自身、食べるのが楽しみであり、生きがいです。患者様と関わる際は、生きがいとは何かを常に考えることを大切にしていきたいです。チーム医療を大切にしている職場で多くのことを学び、自分の目指す言語聴覚士となれる様に頑張ります。また山梨の美味しい食べ物も沢山見つけたらなと思っています。よろしくお願ひします。



内藤 宜子 (ないとう よしこ)

介護老人保健施設 ノイエス

山梨県中央市出身です。老年期において様々な機能低下がある中で、口腔機能や摂食嚥下機能へのアプローチの重要性を感じ、介護老人保健施設に入職しました。初めて働く職場が、ST は私一人のため、日々、支援する難しさを痛感しています。県士会では、他の先生方と繋がりを持つことを嬉しく思います。誤嚥性肺炎の予防や認知症の方への関わりなど、老人施設だからことできるST の役割を見出し、利用者一人一人のQOL を向上できるよう精進していきます。宜しくお願ひ致します。



森田 夏海 (もりた なつみ)

甲州リハビリテーション病院

出身は、長野県松本市です。山梨県に住むのは初めてですが、地元と同じように周囲を山に囲まれた風景にはどこか安心感を覚えています。先輩方や患者さんの姿から多くのことを学び、日々勉強の毎日です。患者さん一人ひとりに寄り添える言語聴覚士になれるよう、努力していきます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。



風間 理紗 (かざま りさ)

甲府共立診療所

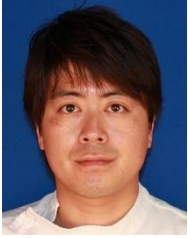
山梨県笛吹市出身です。目白大学を卒業しました。大学のクリニックでお子さんのリハビリを見学し、様々な発見や学びがあったことがきっかけで、小児分野に興味を持ちました。お子さんとご家族が楽しく元気な気持ちで生活を送れるようにサポートができるセラピストになっていきたいです。よろしくお願ひします。



小笠原 健吾 (おがさわら けんご)

甲府城南病院

出身地は栃木県です。山梨県とは縁もゆかりもありませんでしたが、おいしい食べ物や豊かな自然など日々山梨県の魅力を発見しながら楽しく生活しています。頼もしい先輩方に支えられながら現場に立っていますが、まだまだ知識不足のため日々勉強の毎日です。一日でも早く病院の、そして山梨県の戦力になれるよう日々精進して参ります。何卒宜しくお願ひ致します。

**小室 良 (こむろ りょう)****甲府城南病院**

出身は神奈川県横浜市ですが、結婚を機に山梨県永住となりました。社会人としては長いのですが、ようやく言語聴覚士として働くことが出来るようになりました。まだまだ言語聴覚士として分からない事ばかりですが、一つでも諸先輩方から知識・技術を学び成長していきたいと思ひます。ご指導よろしくお願ひします。

**草田 菜絵 (くさだ なえ)****甲府城南病院**

山梨県富士河口湖町出身です。東京で学生時代を過ごし、就職を機に山梨に戻ってきました。知識や技術が未熟な故に悩むこともあります。先輩方や患者様から学ぶことは大変多く、充実した日々を送っています。患者様やご家族に寄り添い、努力を怠らないSTになるため、毎日少しずつでも成長していけるよう励みたいと思ひます。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。

**吉越 はずき (よしごえ はずき)****巨摩共立病院**

目標であった言語聴覚士として働くことに喜びを感じています。今はまだ、不安がいっぱいで分からないこともたくさんありますが、日々積極的に学んで知識を増やしていきたいと思ひます。自分が関わらせていただくことで少しでも患者様の支えになることができるよう、精一杯頑張っていきます！よろしくお願ひ致します。

**尾形 晶子 (おがた しょうこ)****笛吹中央病院**

この春多摩リハビリテーション学院専門学校を卒業し、4月より笛吹中央病院に入職致しました。前職は栄養士で、摂食嚥下分野にとっても興味があり言語聴覚士を目指しました。まだ至らぬ点だらけではありますが、毎日の臨床業務や勉強会を通し積極的に学び、患者様やご家族に寄り添い、より良いリハビリが提供できるような言語聴覚士になれたらと考えております。ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ致します。

**依田 華 (よだ かづき)****山梨県立中央病院**

出身は山梨県南アルプス市。出身校は長野医療衛生専門学校です。入職して1か月が過ぎましたが、慣れないことが続いています。しかし患者様のためを思うともっと頑張らねばいけないと自分を鼓舞しています。先輩方の力をお借りしながら、一人でも多くの患者様の人生に寄り添えたらなと思ひます。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ致します。

**飯沼 直美 (いいぬま なおみ)****山梨リハビリテーション病院**

大学時代は英文学を学んでいましたが、とあるきっかけで言語聴覚士を目指すこととなり、現在に至ります。まだまだ未熟者ですが、地元山梨の方々のために貢献できるよう、精一杯頑張ります。よろしくお願ひいたします。

**石原 悠香 (いしはら ゆか)****竜王リハビリテーション病院**

出身は福島県、出身大学は国際医療福祉大学です。結婚を機に家庭に入っておりましたが、もう一度言語聴覚士として働きたいという思いがあり、復帰させて頂きました。患者様の思いをしっかりと聞き、患者様の気持ちに寄り添ったリハビリが提供できるようまた一から頑張っていきたいと思ひます。今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。

研修会レポート

昨年末よりオンラインでの研修会の企画・開催が再開されましたが、年明けの令和3年からも多くの研修会が開催されています。リハビリテーション専門職として、スキル向上を目的に一人でも多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

令和2年度第2回・3回学術講演会

令和3年2月26日（金）に一般社団法人日本言語聴覚士協会会長深浦順一先生をお招きして、「言語聴覚士の過去・現在・未来 ～言語聴覚士のこれからに向けて～」をテーマにご講演いただきました。当日は、他県士会の言語聴覚士も含め66名の参加者があり、オンラインで講義を聴講しました。言語聴覚士が国家資格として制定される前からの深浦先生の活動までお聴きすることができ、更に今後目まぐるしく変わる社会情勢や日々進歩する医学に取り残されることがないように研鑽を積むようエールが送られました。参加者全員が初心に戻って聴講し、翌日から希望をもって臨床に臨めたように思います。

同年3月26日（金）には、介護老人保健施設マロニエ苑でご勤務される黒羽真美先生をお招きして、「地域リハビリテーション活動支援事業における言語聴覚士の役割と令和3年度介護報酬改定の動向」をテーマにご講演いただきました。講義では、黒羽先生の地域での実際のご経験を踏まえたお話や介護報酬改定の裏話まで聴くことができました。年末にも関わらず75名の参加者があり、会員の介護保険分野への関心の高さが感じられました。

令和2年度第1回症例検討会

令和3年3月18日（木）にオンラインで初めての症例検討会が行われました。発表者は山梨県立中央病院で勤務される萩野谷巧先生でした。ディスカッションの内容が“がんリハ”という、まだ馴染みのない領域だったこともあり、参加者は発表者との質疑応答など、ディスカッションを盛んに行い、画面越しではあるものの白熱した検討会になりました。

初開催でしたが、通信環境などの機材トラブルもなく、一年ぶりの症例検討会に参加者全員が充実感をもって終了することができました。言語聴覚士として、病態メカニズムや症例の心理反応など、症例個別に丁寧に検討することはとても大切だと思われます。コロナ禍で対面での症例検討会は行えませんが、今後も長年続いてきた症例検討会のような専門スキル向上を目的とした研修会が閉会せず、継続して進めていけることに期待したいです。



訃報

一般社団法人山梨県理学療法士会 小林伸一会長が病氣療養中のところ令和3年5月23日に永眠いたしました

ここに生前に賜りましたご厚誼に感謝申し上げます

「山梨県民のためになる事業は3士会でやろうよ」と小林伸一会長の言葉により山梨県の3士会の連携が山梨県リハビリテーション専門職団体協議会という形になりスタートしました 小林伸一会長のご遺志を継いで我々は県民の医療 介護 福祉の向上のために更なる努力を続けていきたいと思います

いつも小林伸一会長の周囲は人が集まり 和やかで親しい雰囲気の中 笑顔にあふれていました

闘病中は理学療法士として 山梨県理学療法士会の会長として最後まで職業人として働かれた姿に尊敬してやみません

謹んでご冥福をお祈りいたします

山梨県言語聴覚士会 会長 内山量史

理事会議事録

第9回

日 時：令和2年12月18日(金) 19時00分～20時28分

出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、石垣、池神、市川、桂川、佐々木、
高橋、中嶋、舟越、吉澤、河西

委任状出席：元木、山田

<協議事項>

生涯研修部

1. 症例検討会を令和3年3月18日にオンライン開催することが承認された。発表者は山梨県立中央病院の榊野谷 ST、バイザーは山田理事、スーパーバイザーは赤池洋副会長となった。
2. 第2回学術講演会は、一般社団法人日本語聴覚士協会の深浦順一会長を講師に迎え、2月26日に開催することが決定した。
3. 第3回学術講演会は、介護老人保健施設マロニエ苑の黒羽真美先生を講師に迎え3月26日に開催することが決定した。講演会に先立ち士会員へのアンケート調査があることが報告された。
4. 両講演会ともに参加費は無料とし、参加人数は先着90名とすることが決定した。
5. 県士会HPの充実を図るためレイアウト等を検討していくこととなった。

<報告事項>

1. 新卒者研修会「構音障害 嚥下障害」の開催が報告された。
2. 都道府県士会の災害リハビリテーション支援状況調査への協力、山梨JRAT 令和2年度研修会、第3回運営委員会の開催について報告された。
3. 昭和町介護予防事業・おたっしや出前講座での講義実施が報告された。
4. 第7回山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会、第9回運営委員会の開催が報告された。

第10回

日 時：令和3年1月22日(金) 19時04分～20時43分

出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、石垣、池神、市川、桂川、佐々木、
高橋、中嶋、舟越、元木、山田、吉澤、河西

<協議事項>

1. 令和3年度の定時社員総会は最少人数で開催し、議案の決議は書面表決等を推奨すること、Zoomで配信し、理事、会員が傍聴できるようにしていくことが決定した。
2. 研修会情報を確実にホームページに掲載するために、研修会については各部署担当者が事務局と桂川理事の双方へ連絡することが決定した。
3. 災害時安否確認システムの第2回予行演習を2月1日～5日に行うことが決定した。
4. 第3回山梨県リハ専門職合同学術大会運営委員会の副理事長が承認された。

<報告事項>

1. 第1回学術講演会「感染症の基礎知識/予防～現場のリハスタッフ(特にST)が気を付けること～」の開催が報告された。
2. 家屋調査研修会、生活期リハビリテーション研修会の開催が報告された。

3. 「ふじやま」運営委員会より「山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会 コミュニケーション支援実習」への協力、「ふじやま通信」第10号の作成が報告された。

第11回

日 時：令和3年2月24日(金) 19時03分～20時44分

出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、石垣、池神、市川、桂川、佐々木、
高橋、舟越、元木、山田、吉澤、河西

<協議事項>

1. 令和3年度定時社員総会は、5月21日(金)19時～開催することが決定した。
2. 県士会ホームページの掲載内容の整理について承認された。トップページへの掲載は1年以内とし、期間が終了した情報は別のコンテンツに年度ごとに収納していくこととなった。
3. 第3回山梨県リハ専門職合同学術大会一般議題の査読は、当会の第12回学術大会より導入した点数方式で実施することとなった。

<報告事項>

1. 新卒者研修会「対人コミュニケーション」、「SLTA」の開催が報告された。
2. 県士会災害時安否確認システム第2回予行演習の実施、東北地震に関して福島県・宮城県言語聴覚士会へお見舞いメールを送付したことが報告された。
3. 令和2年度山梨県がんをもつ方のリハビリテーション公開講座の開催が報告された。

第12回

日 時：令和3年3月19日(金) 19時01分～21時16分

出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、石垣、池神、市川、桂川、佐々木、
高橋、中嶋、舟越、山田、吉澤、河西

委任状出席：元木

<協議事項>

1. 県士会ニュース49号の企画について検討し、承認された。
2. 令和3年度社員総会議案書作成に向けて令和3年度事業計画案、予算案を検討した。

<報告事項>

1. 事務局よりZoomミーティングのスケジュールリングの実施、携帯電話の購入・管理、会員動向が報告された。
2. 第2回学術講演会「言語聴覚士の過去・現在・未来～言語聴覚士のこれらに向けて～」、第1回症例検討会の開催が報告された。
3. 令和2年度山梨県民間病院協会 PTOTST 部会研修会、令和2年度介護職場人材育成研修の開催が報告された。
4. 3士会災害対策支援委員会研修会の開催が報告された。

開催方法：オンライン会議

議 長：内山量史

書 記：坂井李菜、高橋里実、佐藤淳貴

議事録作成：河西祐子

<各局からのお知らせ>

事務局

- 事務局では、県土会活動が円滑に行えるよう、社員総会や理事会の開催、会員への各種情報の発信、会員情報管理、会費徴収や法人税の支払い等の財務管理を行っています。
- 今年度の正会員は133名、賛助会員は7団体です。既に多くの会員に会費を納入していただきましたが、まだ納入がお済みでない方は佐々木財務部長へ直接お届けいただくか、下記口座への振り込みをお願い致します。(年会費：10,000円)

金融機関名	山梨中央銀行
支店名 店番	石和支店 305
口座名 番号	普通 950758
名称	一般社団法人山梨県言語聴覚士会 シヤ・ヤマナシケンゲンゴチヨウカクシカイ

今年度も、各部署、関連他団体からの情報を適切に発信していきたいと思っております。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

学術局

昨年度は学術局主催の講演会や研修会のご協力ありがとうございました。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン中心の開催にはなりますが、より充実した内容の講演会・研修会を企画できるように努めてまいります。ご参加の程よろしくお願い致します。

<生涯研修部>

○学術講演会

・第1回 学術講演会

会場：ZoomによるWeb開催

日時：未定

内容：「言語機能局在と失語症の診方（仮）」

講師：大槻美佳先生（北海道大学）

・第1回 症例検討会

会場：ZoomによるWeb開催

日時：令和3年6月24日（木）19:00～

発表者：佐藤綾美先生（甲州リハビリテーション病院）

バイザー：中村晴江先生（甲府城南病院）

○生涯学習プログラム

・基礎講座

日時：令和3年7月30日（金）

講座：「臨床業務のあり方・進め方」

講師：佐々木蘭子先生（春日居サイバーナイフ・リハビリ病院）

日時：令和3年9月17日（金）

講座：「言語聴覚療法の動向」

講師：赤池洋先生（山梨大学医学部附属病院）

社会局

社会局は渉外部、広報部、会報編集部・ホームページ管理部の3部体制で活動しています。

<渉外部>

日本言語聴覚士協会や山梨県理学療法士会、山梨県作業療法士会、山梨県介護支援専門員協会などの他団体との連携や行政との連携・協力を行ってまいります。また、令和元年度に会員の皆様にご協力をいただきました「外来リハ・訪問リハ・訪問看護・通所リハ・通所介護に関する実態調査」を今年度も実施致します。コロナ禍の厳しい環境下でも会員同士が一致団結し円滑な医療・介護連携を図り続けたいと考えていますのでご協力をお願い致します。

<広報部>

一般の方々に向けた言語聴覚療法の広報及び啓発活動を図ってまいります。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のためにイベント活動に制限が出るかもしれませんが、出来る限り感染対策に努めて広報活動に参加していきたいと思っております。また、イベント活動以外においても言語聴覚士の社会的認知度を高めていきたいと思っております。

<会報編集部・ホームページ管理部>

会報誌「県土会NEWS 49号、50号、51号」の発行を行い、県土会活動だけでなく会員間のコミュニケーションツールとして、多岐にわたる情報を伝えていきたいと思っております。今年度は記念すべき50号が発行されますのでご期待ください。また、ホームページをリニューアルし、より県土会や言語聴覚士の広報活動の一助となるように情報の収集・発信を推進してまいります。

編集後記

COVID-19が収束せず、そのまま東京オリンピック2020に突入しようとしている今現在。コロナウイルスは、我々全世界人類に様々な重圧をかけ、それに翻弄されているといえるのは言うまでもない事実です。しかしながら、各家庭での手指衛生の見直しによる他感染症の低減など生活習慣全般が見直され、プラス側面があるのも事実です。

「There is always light behind the clouds.」。どんなことにも光と影があるのが世の常です。医療業界には、なかなか光が見えない今ですが、すぐそこに光が差していることを信じて、歩んでいきましょう。

今年度の会報編集・HP管理部の活動にご協力をよろしくお願い致します。

(桂川 謙祐)

令和3年度山梨県言語聴覚士会 会員所属病院・施設一覧

令和3年5月現在

【医療関係】

名称	所在地	電話	名称	所在地	電話
あけぼの医療福祉センター 療養科	407-0046 韮崎市旭町上條南割 251-1	Tel 0551-22-6111 Fax 0551-22-7890	しもへ病院	409-2942 南巨摩郡身延町下部 1063	Tel 0556-36-1111 Fax 0556-36-1556
石和温泉病院 言語聴覚室	406-0023 笛吹市石和町八田 330-5	Tel 055-263-0111 Fax 055-263-0260	白根徳洲会病院 リハビリテーション科	400-0213 南アルプス市西野 2294-2	Tel 055-284-7711 Fax 055-284-7721
石和共立病院 入院リハビリテーション室	406-0035 笛吹市石和町広瀬 623	Tel 055-263-3131 Fax 055-263-3136	ツル虎ノ門外科・ リハビリテーション病院 リハビリテーション科	402-0005 都留市四日市場 188	Tel 0554-45-8861 Fax 0554-45-8876
甲斐リハビリテーション クリニック	400-0117 甲斐市西八幡 3900	Tel 055-278-2016 Fax 055-278-2017	笛吹中央病院 リハビリテーション技術科	406-0032 笛吹市石和町四日市場 47-1	Tel 055-262-2185 Fax 055-262-5985
春日居サイバーナイフ・ リハビリ病院 言語療法科	406-0014 笛吹市春日居町国府 436	Tel 0553-26-4126 Fax 0553-26-4366	富士温泉病院	406-0004 笛吹市春日居町小松 1177	Tel 0553-26-3331 Fax 0553-26-3574
恵信甲府病院 リハビリテーション部	400-0814 甲府市上阿原町 338-1	Tel 055-223-7333 Fax 055-223-7337	富士吉田市立病院 リハビリテーション技術科	403-0032 富士吉田市上吉田東 7-11-1	Tel 0555-22-4111 Fax 0555-22-6995
恵信梨北リハビリテーショ ン病院 リハビリテーション室	400-0106 甲斐市双葉町岩森 1111	Tel 0551-28-8820 Fax 0551-28-8830	北杜市立塩川病院 リハビリテーション科	408-0114 北杜市須玉町藤田 773	Tel 0551-42-2221 Fax 0551-42-2992
健康科学大学クリニック	401-0302 南都留郡富士河口湖町小立 2487	Tel 0555-73-2800 Fax 0555-73-2844	山梨市立牧丘病院	404-0013 山梨市牧丘町窪平 302-2	Tel 0553-35-2025 Fax 0553-35-4434
甲州リハビリテーション 病院 リハビリテーション課	406-0032 笛吹市石和町四日市場 2031	Tel 055-262-3121 Fax 055-262-3727	山梨県立中央病院 リハビリテーション科	400-8506 甲府市富士見 1-1-1	Tel 055-253-7111 Fax 055-253-8011
甲府共立診療所 小児リハ	400-0034 甲府市宝 1-10-5	Tel 055-221-1000 Fax 055-221-1011	山梨赤十字病院 リハビリテーション部	401-0301 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1	Tel 0555-72-2222 Fax 0555-73-1385
甲府共立病院 リハビリテーション室	400-0034 甲府市宝 1-9-1	Tel 055-226-3131 Fax 055-226-9715	山梨大学医学部附属病院 リハビリテーション部	409-3898 中央市下河東 1110	Tel 055-273-1111 Fax 055-273-8372
甲府脳神経外科病院 リハビリテーション科	400-0805 甲府市酒折 1-16-18	Tel 055-235-0995 Fax 055-226-9521	山梨リハビリテーション病院 言語療法課	406-0004 笛吹市春日居町小松 855	Tel 0553-26-3030 Fax 0553-26-4569
甲府城南病院 言語聴覚療法科	400-0831 甲府市上町 753-1	Tel 055-241-5833 Fax 055-241-8660	湯村温泉病院 言語聴覚療法科	400-0073 甲府市湯村 3-3-4	Tel 055-251-6111 Fax 055-251-3579
国立病院機構甲府病院 リハビリテーション科	400-8533 甲府市天神町 11-35	Tel 055-253-6131 Fax 055-251-5597	竜王リハビリテーション病院 リハビリテーション部	400-0114 甲斐市万才 287	Tel 055-276-1155 Fax 055-279-1262
巨摩共立病院 リハビリテーション室	400-0301 南アルプス市桃園 340	Tel 055-283-3131 Fax 055-282-5614			

【介護・福祉・教育関係】

おおくに在宅ケアセンター おおくに訪問リハビリテーシ ョン	400-0053 山梨県甲府市大里町 5328	Tel 055-220-2555 Fax 055-220-2556	ノーサイドクリニック甲府 教室	400-0008 甲府市緑が丘 2-10-1 まごころ補聴器内	Tel 090-1201-4419 Fax 055-215-2401
勝沼ナーシングセンター リハビリテーション部	409-1302 甲州市勝沼町菱山 中平 4300	Tel 0553-44-5311 Fax 0553-44-5221	訪問看護ステーション つゆき	400-0862 甲府市朝氣 3-18-5	Tel 055-223-1234 Fax 055-226-3387
介護老人保険施設ノイエス	409-3863 中巨摩郡昭和町河東 中島 443	Tel 055-275-1165 Fax 055-275-1161	富士・東部小児リハビリテー ション診療所	401-0301 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1 富士ふれあいの村内	Tel 0555-72-8528
介護老人保健施設 はまなす	401-0301 南都留郡富士河口湖町 船津 6901	Tel 0555-83-3285 Fax 0555-83-3286	山梨県立 あけぼの支援学校	407-0046 韮崎市旭町上條南割 3251-1	Tel 0551-22-6131 Fax 0551-22-6628
介護老人保健施設ひばり苑 リハビリテーション科	409-3852 中巨摩郡昭和町飯喰 1277	Tel 055-275-9511 Fax 055-275-9512	山梨県立 こころの発達総合支援センター 相談医療課	400-0851 甲府市住吉 2-1-17	Tel 055-288-1695 Fax 055-288-1696
ツクイ甲府下飯田	400-0064 甲府市下飯田 2-12-17	Tel 055-230-2285 Fax 055-230-2287			

やさしい聴こえのお手伝い



- 認定補聴器技能者在籍
- 試聴器の無料貸出
- 支援法補聴器取り扱い

写真：シグニア補聴器 スタイレット 充電式

認定補聴器専門店

山梨リオン補聴器センター

甲府店 ☎ 0120-29-3321 玉穂店 ☎ 0800-800-8173
甲府市中央 5 丁目-29 中央市若宮 29-3 T-ウエスト

私たちはシャント発声のプロフェッショナルです

喉頭を摘出された方々のQOL向上のために、シャント発声のリハビリテーションや患者さまを対象にした勉強会を行っています。シャント発声について興味のある言語聴覚士の皆さまには、実際のリハビリテーションの様子や勉強会を公開しておりますので、お気軽にお問合せください。



Atos
Breathing-Speaking-Living

株式会社アトスメディカルジャパン

〒104-0033 東京都中央区新川 1-3-19 新川三幸ビル 2F
tel 03 4589 2830 / fax 03 5540 0890
info.jp@atosmedical.com

病院で使われている介護食を、
ご家庭にお届けしています。

在宅 通信販売



高栄養・やわらかい
飲み込みやすい
をサポート

「はつらつ食品」カタログにはこんな商品が掲載されています

- ・食べ物や飲み物に混ぜるだけで簡単にトロミをつけられるトロミ調整食品
- ・むせにくいゼリータイプの飲料
- ・食べやすく飲み込みやすくなった食品
- ・飲んだりチューブを用いて摂取出来るバランス栄養食品

病態別にたんばく制限用、カロリー制限用カタログもご用意しております

TEL 0120-236-977
FAX 0120-478-433
インターネット ヘルシーネットワーク 検索
https://healthynetwork.jp

スベラカーゼ

酵素でベタツキ分解

主食・主菜・副菜・汁物・デザート・飲料…
お粥はもちろん、すべての食事に



foodCare JAPAN TEL: 042-700-0555 www.food-care.co.jp

森永乳業グループ病態栄養部門
株式会社 クリニコ

0120-52-0050
受付時間：平日9:00~17:30(土・日・祝、年末年始、5月1日を除く)

唾液のチカラで健康と笑顔をお口をやさしくケア ペプチサル・シリーズ

Pepti-Sal

Pepti-sal (ペプチサル)とは、
「Peptide (ペプチド) +
「Saliva (唾液)」の造語。

唾液のチカラに着目して開発された低刺激性のオーラルケア製品です。デリケートなお口をやさしくケアし、お口の環境を健康に保ちます。要介護の方のケアにもおすすめです。

2014年12月発売

T&K ティーアンドケー株式会社 ☎ 0120-555-350
www.comfort-tk.co.jp

「医療専門家 × 医療機器ベンチャー × フードケア」
連携の新会社 カレイド株式会社

「ジェントルシステム干渉電流低周波治療器」を
よろしくお願いたします。

4th year of a new CAREIDO Co., Ltd

「ケア食品」で毎日を美味しく
株式会社 フードケア
TEL: 042-700-0555 FAX: 042-700-7444

「ケア機器」で毎日を支える
カレイド株式会社
TEL: 042-700-8830 FAX: 042-700-8840

誤嚥リスクの低減
新しい背上げ
ハイバックサポート機能

P300 シリーズ

医療・介護ベッドメーカー
株式会社 プラッツ
http://www.platz-ltd.co.jp/

■関東支店 / 関東ショールーム
〒105-0014 東京都港区芝2-16-9 芝YSビル3F
TEL.03-5427-8033 FAX.03-5427-8031

■福岡本社 ■北海道 ■宮城 ■東京 ■愛知 ■大阪 ■広島